

文芸きくち



万句の里俳句会 8月句会

熔岩原をやさしく包む青芒
飛びながら風より軽く糸とんぼ
夏山を迷ひて着きし旅の宿
百選の水より揚ぐる新豆腐
かなかなや古刹いよいよ荒びたる

川口 二子
中路 郁子
宮本 敏子
岩本 敬治
宮本 雅子

せせらぎ俳句会 8月例会

孫たちに大戦語る終戦日
眼なきマリアの眼窩長崎忌
甚平を脱いで喪服の重さかな
泣き笑ひ高校球児の夏一途
夏ばてか御飯三口で箸を置く

寺本 和子
藤本 邦治
五丁 義昭
藤本アツ子
森 正子

旭志文芸教室俳句の会 8月詠草

精霊やおぶりに帰る墓参り
蝉しぐれ危険温度に拍車かけ
深呼吸庭に体操青葉風
山の畑今年も届く落し文
涼しさや樹齢の杜の石灯籠

稗田 達恵
中尾ヨシコ
芹川のり子
水谷 ミネ
芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 8月例会

済みません なかなか言えず辞めました
盆が来て 墓が壊れて参られん
カジノ法 議員はみんな行かすどか
西瓜畑 盗人に一個残しとこ
真夏日続き ねまらにゃよかが脳味噌の

宮上 美由
御手洗三代
柏原 乗仏
井手 水光
山隈 好茶

七城短歌会 8月詠草

「暑いね」とかたみに汗を拭きながらホールに向かう球を目に追う
呆け防止われに最適乞い願い花選別に加えてもらう
プラカード持ちて肅々行進の乙女ら開会式を盛り上ぐ
白雲の横たう上下層碧と朱の色鮮やかな今日の黄昏
疫神祭準備が忙し担当の子息は今朝を早く出で行く

緒方 正俊
高木 精
佐々 重弘
嶋田 晴美
緒方 寛子

「里」短歌会 8月詠草

空、海の茜に染まるクルーズの旅に甦る夫との五十年
五時三十二分日の出を拝みスコップ持つ私らモンゴル砂漠緑化隊
南方戦線二人の吾子を国のため捧げし母の在りし日偲ぶ
「コロラドの月」とふ歌を耳にして遠き日の頭ちただ懐かしき
こんな処こんな処に日日草コンクリートの隙間に咲ける

坂本 玲子
梶原美智代
古庄 絢子
安見 朱實
岩本サヨ子

溪流短歌会 9月詠草

ワシワシと狂おしく鳴く熊蜂の短き命をただひたすらに
アディショナルタイムの一瞬得点をゆるして夢は空に消えゆく
今日ひと日明日のひと日も縋りつつ炎暑を生きる九十三歳
猛暑などぞ知らぬ風と百日紅色鮮らしく青空に映ゆ
誰も居ぬ村の遊園地ブランコの猛暑の中を風に揺れるる

田中 遙子
岩根 博恵
中川 愛子
山城 雅子
川口 敦子

菊池短歌会 9月詠草

三百万の人死なしめて七十余年血涙の地球に我が生きてをり
父母の亡き家に聞けかなかなを送話器に送りぬ棄郷の友へ
ぶどう樹の枯葉を取れば手の甲にひやり冷たき青蛙乗る

中川 愛子
怒留湯健蓉
安藤 則子

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会
肥後狂句水笑会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578
山隈 ☎0968(38)2051

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 古賀 ☎0968(25)1764